

向島セミナーハウスに、『チャンドラ・セカール・アカデミー・インド式教育システムによる『インターナショナルスクール京都校』が開校

4月6日、インド式教育システムによる『チャンドラ・セカール・アカデミー・インターナショナルスクール京都校』が、向島セミナーハウス3階に開校しました。

今年度は、小学校1年生～3年生の外国籍児童を受け入れ、すでにインド国籍やネパール国籍の子ども達が入学しており、来年度以降は、受け入れる学年を広げることになっています。

教育内容は、インド発祥のヨガを朝礼や終礼に取り入れ、英語教育に力を入れるほか、ヒンディー語や日本語、日本文化、日本のマナーも教えます。

このスクールの代表者であるクナ・ダッシュさんは、NPO法人「インド日本友の会」（本部：和歌山市）の理事長で、東インド・オディシャ州プリーでチャンドラ・

セカール・アカデミーを運営されており、京都校はその姉妹校となります。

クナ・ダッシュさんは、京都国際観光大使も務めており、音楽・料理・ヨガなどの交流イベントを通じて、向島地域の皆さんとの積極的な交流を目指されています。



4月6日、向島セミナーハウスで行われた開校式

『チャンドラ・セカール・アカデミー・インターナショナルスクール京都校』についてのお問い合わせ 事務局 TEL：644-7333

向島地域包括支援センターが、地域の皆さんや、向島消防出張所の皆さんと共に「あったか訪問」



向島地域包括支援センターは、民生児童委員、老人福祉員、各学区社会福祉協議会、京都市南部障がい者地域生活支援セン

ター「あいりん」、向島消防出張所の皆さんと共に、平成26年度より毎年、「あったか訪問」を行っています。

「あったか訪問」は、防火指導、安否確認、見守り活動を兼ねたもので、地域の高齢者、障害を持った方など、

災害時要避難援護者を対象にしており、地域の活動として定着しつつあります。

「あったか訪問」を通して、住民の皆さんとの「顔の見える関係」ができ、生活に問題をかかえた世帯の早期発見にもつながっています。さらに、「あったか訪問」に参加している各団体が情報を共有することができ、それぞれの団体の取組にも役立っています。

向島地域包括支援センターは、今年も8月～10月にかけて「あったか訪問」を行うことにしています。

「あったか訪問」についてのお問い合わせ 向島地域包括支援センター TEL：622-8845

「にじいろプロジェクト第2回シネマとトーク」のお知らせ

上映映画「見えないから 見えたもの」（2015年作品 副音声・字幕あり）

＊日時：6月2日（土）13時30分～16時

＊会場：向島ニュータウン1街区集会所

※映画上映後、コーヒーやお菓子をいただきながら、「京都府視覚障害者協会伏見支部」の中田さんと、「にじいろプロジェクト」の黒多さんのトーク、参加者の皆さんとの懇談を行います。

「第2回シネマとトーク」についてのお問い合わせ 愛隣館研修センター TEL：621-3849 佐藤まで

発行：向島まちづくりビジョン推進会議

事務局・問い合わせ先：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：池田、齋藤、片山

電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

まちづくりビジョン・WG 開催情報などは 向島のまちづくり 🔍 検索



向島まちづくり通信 第11号

平成30年5月30日発行

中文版、請看下面的网址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

向島ニュータウンまちづくりビジョン 2年目がスタートしました！

～平成30年度第1回推進会議が開催されました～

平成29年度から4年間かけて向島地域の活性化に取り組む「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の2年目がスタートし、5月16日（水）に向島学生センターセミナーハウスにおいて、平成30年度第1回推進会議が開催されました。

会議では、1年目の取組を振り返り、2年目の取組目標や各ワーキンググループで取り組んでいくこと（次頁参照）、今後のスケジュール、向島二の丸小・向島中の跡地活用を検討するワーキンググループの立ち上げなどについて、話し合われました。



会議での主な意見等

- ・多世代が住む環境を作っていくには、新たな住宅の整備や仕事の場づくりなどについても合わせて検討する必要がある。
- ・向島のイメージアップに引き続き尽力していきたい。
- ・より多くの人、様々な人にまちづくりに参加していただくためには、タウンミーティングの回数を増やすことも良いが、議論に入れなかったり、ハードルを高く感じる人もいるので、ビジョンの成果を発表する場や講演会という参加しやすい実施方法の検討が必要。
- ・向島二の丸小・向島中の跡地について、暫定的に地元が利用・管理する方法を検討するワーキンググループを立ち上げる。

地域団体活動ステップアップサポート事業

平成30年度事業説明会及び平成29年度活動報告会が開催されました！

住民主体のまちづくりを進めるため、向島ニュータウンまちづくりビジョンに基づく活動に対して、市が助成を行う「地域団体活動ステップアップサポート事業」の事業説明会兼活動報告会が、4月16日（月）に向島学生センターセミナーハウスにおいて開催されました。

約40名の参加者が活動報告を聴き、活動団体への激励のコメントやアドバイスなど、活発なやりとりが行われました。

平成30年度もこの助成金によって、新たなまちづくり活動が始まり、広がっていくことが期待されます。（平成30年度の募集は5月31日（木）まで）



平成29年度
活動団体

・にじいろプロジェクト
・向島まつり実行委員会
・向島賑わいづくり事業者組織
・京都文教大学学生放送局

ビジョン2年目 ▶ 平成30年度に取り組んでいくこと

各テーマのワーキンググループでこれから1年間にに取り組んでいくことの一部を紹介します。ワーキンググループの取組・会合には、どなたでも参加できます！ 問い合わせ先までお気軽にお尋ねください！

魅力発信・観光・商業地賑わい

●魅力発信・観光

- ・タウン誌の新たな発行やポータルサイトの充実、編集・管理体制づくり、ラジオ番組の制作・発信に引き続き取り組みます。
- ・向島の歴史・文化の発信やツアーを企画し、実施します。

●商業地賑わい

- ・向島の賑わいづくりをさらに進め、向島の魅力を高めるマルシェの企画、実施に取り組みます。

子ども・若者支援

- ・PTAなど子育て世代や小・中・高校生の声を聴き、様々な子育て・教育機関等とも連携しながら、小・中・高校生の学習支援や居場所づくりに引き続き取り組みます。
- ・子ども・若者の学習や居場所等の拠点づくりに向け、向島二の丸小、向島中の跡地を活用するための方策を他のワーキンググループと検討します。



住環境・防犯

- ・中央公園のリフレッシュ工事や市営住宅集会所（1街区）の改修について、市と協力して進めます。
- ・近鉄バスの利便性向上に向けた検討を行います。
- ・街区や公共空間のパトロールを通して、問題ある場所の発見や対応策の提案、地域全体の防犯につながる美化活動の検討に取り組みます。

暮らし安心

●高齢者・障害者・多文化多世代交流

- ・多文化・多世代が共生するまちの拠点づくりや高齢者・障害者の生活に係る課題に対し、空き住戸等を活用したグループホーム等の導入に向けた調査・検討を行います。

●中国帰国者等交流

- ・中国語を母語とする住民の方との意見交換を通して、交流活動や拠点づくりに取り組みます。

防災

- ・5街区の市営住宅の空き住戸を活用し、水害時における緊急避難所の試行運用や運営体制づくり
- ・個々人の避難行動計画やサポート体制づくり
- ・災害時危険箇所の把握や周知、標示等に取り組みます。

向島まちづくり通信 編集メンバー募集！

次号から、向島の魅力や情報を内外へ発信する誌面にリニューアルを予定しています。現在、編集にたずさわりたい方や記事を書きたい方を募集中です。ご関心ある方はお気軽にお問い合わせください。

mjkyotomukaijima@gmail.com または裏面事務局・問い合わせ先まで。

取組ワーキンググループ 今後の会合予定

魅力発信・観光・商業地賑わい	6月9日（土）10:00～12:00	会場：向島学生センターセミナーハウス
住環境・防犯	6月12日（火）19:00～21:00	会場：京都文教マイタウン向島（MJ）（商店会 近商向かい）
暮らし安心	6月16日（土）10:00～12:00	会場：京都文教大学
子ども・若者支援	6月23日（土）10:00～12:00	会場：向島学生センターセミナーハウス
防災	次回6月末頃予定	

※開催予定は各街区・各棟の掲示板、京都文教マイタウン向島（MJ）に定期的に掲示し、お知らせしています。その他、京都市のホームページにも掲載しています。

向島ニュータウン・地域のニュース

向島中央公園の「リフレッシュ事業」第一期工事終わる



平成29年度の「向島中央公園リフレッシュ事業」第一期工事では、40年が経過し、成長した樹木で暗くなった公園を見通しの良い明るい公園にするための間伐や剪定が行われました。

あわせて、サクラやモミジなどが新たに植樹され、これまでに増して、季節感のある公園になります。

見通しがよくなり、公園を行き来する住民が増えています。

第二期工事では、散歩道などを補修

今年度（平成30年度）行われる第二期工事では、荒れた散歩道の補修や車イスの通行をしやすくするための出入口の整備などが予定されています。

4月28日（土）には、住民や行政による住環境パトロールが向島中央公園で行われ、所々石がはがれて補修が必要などところなどを見てまわりました。

第二期工事前には、住民説明会が開催される予定になっており、ぜひ参加していただいて、皆さんのご意見をお寄せ下さい。

※住民の皆さんによる向島中央公園の清掃が、毎月第2日曜日の朝7時から8時まで（6月～9月、10月～5月の間は朝8時から）、川と池の清掃は、毎月第2水曜日の朝9時から10時まで行われています（雨天の場合はいずれも中止）。ご協力いただける場合は、清掃日当日、中央公園西側石畳広場にお集まりください。

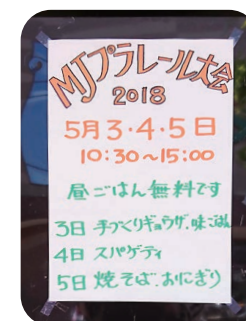
5月の連休は、 「MJブラレール大会」

5月3～5日の3日間、恒例の「MJブラレール大会」が、向島ニュータウンセンター商店会にある、京都文教大学マイタウン向島（MJ）で行われました。

毎日、子どもたちが集まり、広いスペースに力をあわせてレールをつなぎ、色々な電車や汽車を走らせました。

昼ご飯は、京都文教大学の先生や学生、民生・児童委員の皆さんがつくってくれた、焼きめしやスパゲティをいただきました。

「MJブラレール大会」は、障害者の支援を行っている「愛隣館」の職員が、施設を利用する自閉症の人がブラレールの複雑な線路つくることを知り、「障害者が地域と関わるきっかけをつくりたい」と企画したもので、平成25年（2013年）から毎年行われています。このブラレールは、地域の皆さんに呼びかけ、子どもが大きくなって使わなくなったものを提供してもらい集まったものです。



3月10日、「3.11メモリアル・ キャンドルinむかいじま2018」開催

平成23年（2011年）3月11日に起こった東日本大震災と福島第1原発事故。向島ニュータウンにも、放射能汚染から逃れるために多くの方が福島県などから避難してこられました。

大震災から7年経った今も、向島ニュータウンなど伏見区で生活されている避難者がおられます。

大震災7年目の3月10日（土）、第6回「3.11メモリアル・キャンドルinむかいじま」（同実行委員会主催）が、向島ニュータウン中央広場で行われました。

避難してこられた方々でつくる「笑顔つながろう会」や地域の人たちによってつくられた500本のキャンドルに火がともされ、大震災で犠牲になった人々に全員で黙祷。実行委員長で向島ニュータウン在住の高木久美子さんが挨拶し、「原発事故は二度と起こしてはならない」と訴えました。この日の模様を、多くのマスコミが取材に訪れました。

